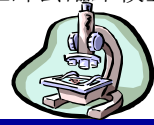


Labo letter



検査情報

こんな時には再検査を実施しています。

血清検査室

項目	再検基準	参考基準値
C E A	500ng/ml 以上の場合希釈して再測定します	5 ng/ml 以下
A F P 定量	350ng/ml 以上の場合希釈して再測定します	10 ng/ml 以下
P S A	50ng/ml 以上の場合希釈して再測定します	4 ng/ml 以下
F T 3	甲状腺関係の検査は、バランスを見て再検し、 T S H に関しては、100 μ IU/ml 以上の場合希釈して再測定します	1.45-3.48 pg/ml
F T 4		0.71-1.85 ng/ml
T 3		1.1-2.0 ng/ml
T 4		5.0-11.0 μ g/dl
T S H		0.13-3.75 μ IU/ml
インシュリン	血糖値との相互関係を確認し再測定します	空腹時 2-15 μ U/ml
梅毒	ガラス板法、TPHA法の結果が不一致の場合は 各方法とも再検し、TPHAは他法にて確認します	(-)
A T L	陽性の時は、他法にて再検査します	(-)
H B sAg 定性		(-)
H C V 抗体	1.0～5.0S/C0の保留域なら再測定します	1 S/C0未満
抗核抗体	陽性なら希釈して再検査します	20倍未満

この他にも

- *前回値との比較を行い、前回値から大きく変動した場合は、今回が正常範囲でも再測定を実施します。
- *前回値比較は、感染症検査でも実施します。陽転化はもちろん陰性化した場合も再測定を実施します。
- *免疫反応上の異常反応が認められた場合は、随時再測定または精査を実施します。

細菌検査室

項目	再検基準
塗抹検査	検体の外観と異なる塗抹検査結果が出た時
培養検査	1. 塗抹検査結果と一致しない時 2. 抗生剤未使用時で便や喀痰、あるいは膿性検体で菌の発育が全くみられない時
同定検査	1. 検査材料から判断して検出されることが稀な菌名がついた時 2. コロニーの外観と違うと思われる菌名がついた時
感受性検査	菌種特有の薬剤感受性パターンと違う時

この他にも前回値と比較し、大きく変動があった時は再検査を実施しています。

センター紹介シリーズ

生理検査室

現在、生理検査は、2名の技師で検査を担当しています。

午前中は健康診断にいられた方の心電図、聴力、肺機能、腹部超音波検査、及び内視鏡検査の介助を行っております。午後は、入院患者様の検査や、睡眠時無呼吸検査、ホルター心電図、幼児聴力検査、ABRなど随時検査を行っています。春と秋には、企業の健康診断で他のスタッフと一緒に機材を持って健診に出ています。

生理検査業務は直接患者様に接する検査です。そのさまざまな患者様の検査を行うことが技術の向上、学習につながるとひしひしと感じます。少しでも成長できるようにがんばりたいと思います。

検査 Q & A



Q：固定液の種類と方法を教えてください。

A：組織用には10%ホルマリン、細胞診用には主に95%エタノールを使用しています。

組織も細胞診も採取後、ただちに固定液に入れて下さい。固定は室温で行います。

ただし、原則として喀痰、尿、体腔液等は検査室で固定操作を行いますので、採取後保存は冷蔵でお願いします。
(病理検査室)

お知らせ

ノロウイルスの季節になりました (細菌検査室)

- | | | |
|-------|----------------|--|
| ●測定原理 | イムノクロマト法 | 【注意!!】検査に適さない糞便(正しい検査結果が得られません) |
| ●料金 | 2,200円(保険点数なし) | ・浣腸液を用いた糞便 |
| ●検査材料 | 糞便(指頭大) | ・直接人体から採取(直腸採取)した糞便 |
| | | ・嚥下補助食品、経管栄養食摂取後の糞便 |

編集後記

今年も当病院の駐車場脇にあるどんぐりの木はいっぱい実をつけました。子供たちに大人気のどんぐり。もちろん歌にもなっています。童謡「どんぐりころころ(作詞 青木存義 作曲 築田貞)」には3番の歌詞があるのをご存知でしょうか。3番は ♪どんぐりころころ泣いてたら 仲良しこりすが とんできて 落ち葉にくるんで おんぶして 急いでお山に 連れてった♪ 優しい歌詞ですね。この3番は青木さんの母校で歌い継がれているそうで、作者は学校音楽コンクールの課題曲などを手がけている作曲家の岩河三郎さん。合唱曲にする為に3番の歌詞を付け加えたそうです。岩河さんは「童謡はお母さんの愛情を感じさせる音楽だと思います。母の愛情を表現するために3番を作りました。」とある番組で語っています。

そういった歌詞が子供たちの想像力を豊かにし、感性を育てていくのでしょうか。童謡の歌詞は改めてみると凄く深いものがあるように思えます。

編集委員 岩野千春・田中郁子・畑 里佐子
発行責任者 椿 安志

〒751-0831 下関市大学町2丁目1-2

下関市医師会臨床検査センター

TEL 083-252-2188 FAX 083-255-0726

TEL 083-252-3794(検査室直通)